

午前5時間制40分授業

信楽プラン

説明資料

甲賀市立信楽小学校

どんな学びになるのか？

- ①午前中の授業が5時間
- ②1コマが40分の授業
- ③20分の余白を使って、主体的に学ぶ

なぜ午前5時間制なのか？

①午前中の授業が5時間

午前中の時間帯は考える学びに適しています。1日の流れそのものを、子どもたちの成長に合う形に組み替えます。

なぜ午前5時間制なのか？

①午前中の授業が5時間

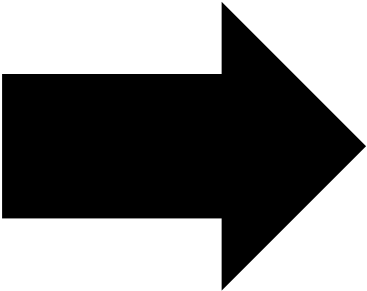
午後は、探究（創造・共創・試行錯誤）に適しています。一日の流れの中で、子どもたちの「やってみたい」気持ちを生かせるようにします。

なぜ午前5時間制なのか？

①午前中の授業が5時間

日課表								令和7年度（2025年度）				信楽小学校			
時		曜		日		月		火		水		木		金	
8:20- 8:30		朝の会・健康観察													
8:30- 8:45		朝の学習													
8:45- 9:30		1校時													
9:30- 9:35		移動休憩													
9:35-10:20		2校時													
10:20-10:40		業間休み													
10:40-11:25		3校時													
11:25-11:30		移動休憩													
11:30-12:15		4校時													
12:15-12:55		給食													
12:55-13:00		給食片付け・そうじ準備						教職が空けいなら そうじ無し		給食片付け・そうじ準備					
13:00-13:15		そうじ						そうじ							
13:15-13:40		昼休み【すこやかタイム】													
13:40-13:45		移動休憩													
13:45-14:30		5校時													
14:30-14:35		帰りの会 14:30～14:40				移動休憩		帰りの会 14:30～14:40				移動休憩			
14:35-15:20		クラブ活動 14:45 ～ 15:30		委員会活動 14:45 ～ 15:30		6校時		毎週一斉下校 14:45				6校時			
15:20-15:35		帰りの会				帰りの会				帰りの会				帰りの会	
下校15:45															
		打合せ 16:00													

日課表変更案 (検討中)



日課表

令和7年度（2025年度）

信楽小学校

時	曜	日	月	火	水	木	金
8:20~8:30	準備・健康観察						
8:30~9:10	1校時						
9:10~9:15	移動休憩						
9:15~9:55	2校時						
9:55~10:05	業間休み						
10:05~10:45	3校時						
10:45~10:50	移動休憩						
10:50~11:30	4校時						
11:30~11:35	移動休憩						
11:35~12:15	5校時						
12:15~12:55	給食						
12:55~13:00	給食片づけ・そうじ準備						
13:00~13:15	そうじ						
13:15~14:00	昼休み						
14:00~14:05	移動休憩						
14:05~14:25	まなびタイム						
14:25~14:35	移動・休憩／帰りの会（5校時下校 14:45）						
14:35~15:20	6校時					6校時	
15:20~15:35	帰りの会					帰りの会	
下校15:45							

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

② 1コマが40分の授業

午前5時間制は、1コマ45分では実現ができません。1コマを40分にする
ことで実現可能になります。

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

②1コマが40分の授業

子どもたちの集中力は30分程度と
言われています。30分で学び、残り10
分間でふり返りを行うことで学びをより
定着しやすくします。

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

② 1コマが40分の授業

40分授業の流れ

30分間 学ぶ時間

見通す・考える・確かめる・学び合う

10分間 ふり返り

まとめ・次へつなぐ

余白の20分で何を学ぶのか？

③20分の余白を使って、主体的に学ぶ

子ども自身が、「やってみたい」と思うことを選択して学ぶことによって、意欲的に学習に取り組むことができます。

余白の20分で何を学ぶのか？

③20分の余白を使って、主体的に学ぶ

探究的な学びやSTEAM教育を取り入れ、「好き（興味関心）」を育み、「得意」を生かすことで、主体的な学びとなります。

余白の20分で何を学ぶのか？

③20分の余白を使って、主体的に学ぶ

学びを調整する（見通し→行動→ふり返し）ことを繰り返すことによって、子ども自身の力で学びのデザインができるようになります。

余白の20分で何を学ぶのか？

③20分の余白を使って、主体的に学ぶ

まなびタイム【学びのデザイン】

自己選択学習

学年・教科・クラスの枠を超え、学びたいことを自分で選択します。

探究的な学習

興味関心を基にして、個人やグループで課題を主体的に解決します。